

夢と希望あふれる輝かしい栗山の歩みを進める！

椿原紀昭町長は、平成26年第4回栗山町議会定例会で町政執行方針を示しました。
栗山町長として3期目の町政執行に当たり「5つの基本目標」を掲げ、ゆるぎない信念のもと全力で町政を推進するため、確かな一歩を踏み出しました。

平成26年第4回栗山町議会定例会の開会に当たり、町政執行に臨む私の所信を申しあげます。

私は、先の栗山町長選挙におきまして、多くの町民ならびに議員皆さんの力強いご支援を賜り、三度、栗山町長として、町政のかじ取りを担わせていただくこととなりました。

私は、この3期目4年間で、これまで2期8年間の新たな動きを着実に成長させる「現実の期間」と位置づけ、ふるさと栗山の未来へのさらなる挑戦の道を切り拓いてまいりたいと考えております。

就任に当たり、町民の皆さんにお約束した「5つのステージ」を旗印に、夢と希望あふれる輝かしい栗山の歩みを進めてまいります。

我がふるさと栗山が持つ

地域に「活力」

3点目は、地域に「活力」がみなぎるまちづくりの推進であります。

厳しい経済・雇用など多くの課題に直面する中、まちとしての力をさらに高めていくためには、何事にも果敢にチャレンジすることが必要であります。

その重点施策として、「第3期栗山農業ルネッサンス」の推進、「農業生産基盤整備事業」の推進、「魅力ある商店街づくり」への支援、「海外販路開拓支援事業」の推進、「道路網および住環境」の整備促進などに取り組みます。

我がまちが秘める潜在力と可能性を引き出し、地域に「活力」がみなぎる元気なまちづくりを進めてまいります。

次代に「生命」

4点目は、次代に「生命」を紡ぐまちづくりの推進であります。

地球温暖化をはじめ深刻化する環境問題への対応が求められる中、栗山が誇る豊かな自然環境を未来へ引き継いでまいります。

そのため、環境先進地の自覚と誇りを胸に、人・モノ・資源に光を当てながら、循環

「栗山力」・「共生力」・「町民力」の3つの力を結集し、力強く躍進するまちの実現に向け、町民皆さんと積極果敢に挑戦する町政を推進してまいります。

合的な子育て支援体制」の強化、「栗山町子ども・子育て支援事業計画」の策定、「ふるさと体験教育」を活かした環境教育の推進、「コミュニティ・スクール」の導入、学校施設・設備の整備など「教育環境」の充実などに取り組みます。

未来への「希望」

1点目は、未来への「希望」が広がるまちづくりの推進であります。

少子化の流れが避けがたい局面を迎える中、ふるさとが将来も持続成長するには、きれいな水と空気、温もりある栗山で暮らす喜びを感じ、若者世代が求める子育てと教育環境の整備が必要であります。

その重点施策として、「総

型社会の実現に邁進することが必要であります。

その重点施策として、「町民参加による自然環境保全・再生活動」への支援、「自然環境保全に向けた中期計画」の策定、「都市農村 共生・対流促進事業」などによる交流人口の拡大、「長期的なごみ処理対策」の検討、「再生可能エネルギー」の活用促進などに取り組みます。

すべての町民が、かけがえないふるさとへの恵みを継承する使命を共有し、次代に「生命」を紡ぐまちづくりを進めてまいります。

連帯の「絆」

5点目は、連帯の「絆」が織りなすまちづくりの推進であります。

人口減少による地域コミュニティの低下や連帯意識の希薄化が顕著化する中、栗山に心癒やされ、誇り高きまちとして成長するためには、人と人・地域と地域のつながりを深め、地域力を醸成していくことが何より必要であります。

その重点施策として、「住民自治の仕組みづくり」の推進、「栗山町自治基本条例」に基づくまちづくりの推進、

新しい時代を切り拓く栗山大好きな若者世代が主人公となり、未来への「希望」がふるさとに広がるまちづくりを進めてまいります。

豊かな「人生」
2点目は、豊かな「人生」を支え合うまちづくりの推進であります。

さまざまな困難に直面する時代の変革期を迎える中、すべての町民が生きがいを感じ、健康に暮らすためには、町民皆さんの知識と経験を活

「栗山町第6次総合計画」の策定、行財政改革指針「がんばる栗山プラン21」の策定、「広報広聴活動」の充実などに取り組みます。

新たな自治の動きが育ち、連帯の「絆」が織りなすまちづくりを進めてまいります。

以下、本年度の主要施策の概要を「栗山町第5次総合計画」におけるまちづくりの基本目標に沿って申し上げます。

町民・地域・行政、みんなが主役のふるさとづくり

地方分権時代が新たな局面を迎える中、まちづくりを担うさまざまな主体が、地域の課題を共に考え、解決を図る仕組みづくりを進めてまいります。

町民一人ひとりが、自らの責任と行動で、積極的にまちづくりに参画し、ふるさとの豊かさを醸成する成熟社会の実現を目指してまいります。

住民自治

まちの個性が真に生かされる自治の仕組みを構築するため、町民や地域の強い絆とつながりを大切にするまちづく



防災対策は、住民自治活動が必要となる

りを進めてまいります。

○今年の約束

- ・自治区活動の推進に、引き続き取り組みます。
- ・NPOの活動支援に、引き続き取り組みます。

町民参加と協働

まちづくりの基本理念を定める「栗山町自治基本条例」の下、分権時代を生き抜く自律した地域づくりを進めてまいります。

○今年の約束

- ・自治基本条例に基づく、まちづくりを推進します。
- ・多くの町民参加による、第6次総合計画を策定します。

行政運営

時代の潮流を捉えた新しい公共の理念に基づき、多様な



継立小学校で行われた土曜授業。未来へ希望が広がるまちづくりのため、教育環境と、ふるさと教育の充実が図られる。

行ってまいります。

○今年の約束

- ・栗山赤十字病院に対する支援を継続します。

■地域福祉

民生委員児童委員や社会福祉協議会など関係機関・団体等と連携し、地域ぐるみで支え合う町民主体の地域福祉ネットワークづくりの構築に取り組んでまいります。

また、社会福祉協議会による在宅サポーター事業やケアラー（介護者）事業を、引き続き支援してまいります。

○今年の約束

- ・町民主体の地域福祉ネットワークづくりを進めます。

■児童福祉

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社



子育て支援の拠点『児童センター』

会の実現を目的とした「栗山町子ども・子育て会議」を設置し「栗山町子ども・子育て支援事業計画」を策定するなど、総合的な子育て支援体制の強化を図ってまいります。

○今年の約束

- ・栗山町子ども・子育て支援事業計画を策定します。
- ・子育てヘルパーの利用を妊婦まで拡大します。
- ・児童センター遊具を整備します。

■高齢者福祉

在宅サービスの充実を図るとともに、社会活動にも積極的に参加できる環境づくりを進めてまいります。

また、「第6期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、介護予防の取り組み強化や地域に密着した介護サービスの充実を図ってまいります。

○今年の約束

- ・第6期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定します。
- ・多世代交流の場づくりを支援します。
- ・認知症予防事業を新たに南部地区で実施します。
- ・養護老人ホーム泉徳苑個室化整備事業を支援します。

・地域密着型介護老人福祉施設整備事業を支援します。

■障がい者福祉

「第4次栗山町障がい者福祉計画・障がい福祉計画」を策定し、障がい者の自立と社会参加を促進する総合的なサービスの充実を図ってまいります。

○今年の約束

- ・第4次栗山町障がい者福祉計画・障がい福祉計画を策定します。

〽教育・文化・スポーツ〽

「人々が輝くふるさとづくり」

幼児から高齢者まで、生き生きと意欲的に学ぶことができる環境を一層充実させ、学校・家庭・地域の連携・協働による「教育を受けるなら栗山」と実感できるふるさとづくりを推進してまいります。

以下、教育委員会の方針を尊重し、教育施策を推進してまいります。

■幼児および家庭教育

豊かな感性を持ち健やかに成長するための環境づくりに努め、家庭・保育所（園）・幼稚園・小学校・地域と連携・協働し、子どものより良い発

達の基盤となる家庭教育機能の向上を図ってまいります。

○今年の約束

- ・家庭教育サポート企業等制度の活用を推進します。
- ・就学前の幼児と保護者を対象とした「ふるさと体験教育」を推進します。

■学校教育

「ふるさと栗山でしっかりと学び、生き生きと活動する子ども」を主題に、人としての土台をつくる教育を推進するとともに、コミュニティ・スクール導入による地域総ぐるみの学校づくりに取り組んでまいります。

○今年の約束

- ・特別支援教育支援員の配置を継続します。
- ・小学校のフッ化物洗口を継続します。
- ・コミュニティ・スクール導入のための組織づくりに取り組みます。
- ・角田小学校体育館の耐震補強設計を実施します。

■北海道介護福祉学校

学生の経済的負担を軽減する修学資金制度の運用と拡大を推進するなど、伝統を活かした積極的な学生確保対策に取り組んでまいります。

担い手の育成を継続します。

- ・農村景観緑肥推進事業を実施します。
- ・グリーンツーリズム活動を引き続き支援します。

■農業生産基盤の整備

農産物の生産性の向上を図るため、基盤整備事業を促進してまいります。

○今年の約束

- ・杵臼・南角田・継立地区の道営基盤整備事業を継続します。
- ・低コスト圃場整備事業を促進します。
- ・離農跡地農地再生事業を促進します。

■林業の振興

公益的機能の維持・増進を図るため「栗山町森林整備計画」に基づき森林組合と連携し適正な森林の整備や林内路網整備を図ってまいります。

○今年の約束

- ・未来につなぐ森づくり推進事業を継続します。
- ・林業専用道継立日出線開設工事を実施します。
- ・森林所有者情報システムを整備します。

■工業の振興

安定的な企業活動を支援す



老朽化してきた施設は計画的に改修を予定

■芸術文化の振興

文化連盟など関係団体や芸術家と連携し、町民が気軽に芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、貴重な文化財の保存・保護を推進してまい

■図書館運営

読書環境改善ため、冷房設備の整備を実施するなど、生涯学習の拠点である図書館の充実を図ってまいります。

また、「栗山子どもの読書活動推進計画」に基づき、学校図書室との連携強化を図るとともに、図書館システムの更新を進めてまいります。

○今年の約束

- ・小中学校図書室との連携を強化します。
- ・図書館システムを更新します。
- ・冷房設備を整備します。

■スポーツの振興

体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、町民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる環境づくりを推進してまいります。

また、経年劣化による施設・設備の計画的な整備・充実を図ってまいります。

○今年の約束

- ・町民球場のラバーフェンスを改修します。
- ・栗山公園テニスコートのフェンスを改修します。

■地域間交流および大学連携

たくましい実践力のある視野の広い青少年の育成を図るとともに、くりやま地域大学を開設し協定大学との連携による専門的な学習機会を提供してまいります。

また、昨年度に引き続き被災地児童交流事業を支援し、栗つ子と福島の子どもたちとの交流を図ってまいります。

○今年の約束

- ・少年ジェット希望の翼派遣事業を継続します。

また、教育課程に新しく追加された医療的ケアや国家試験対策の実施など、より高い資質や技術を備えた介護福祉士を養成してまいります。

○今年の約束

- ・修学資金制度の運用と拡大を進めます。
- ・医療的ケアの習得や国家試験対策を実施します。
- ・フィンランドとの研修交流事業を継続します。

■青少年の健全育成

青少年育成会や協定大学など関係機関・団体との連携し、地域の教育資源を活用した体験事業を通じ、豊かな感性と実践力のある青少年を育成してまいります。

○今年の約束

- ・栗山キッズクラブ事業の充実を図ります。

■社会教育

「ともに支え合いふるさと栗山の未来を拓く町民」を主題に、主体的な学びを育てる学習機会の提供に努め、町民が豊かに学び、その成果を活かすことができる環境づくりを推進してまいります。

○今年の約束

- ・栗つ子支援事業を継続します。



植樹活動で未来の森を守る活動も継続

るなど、地域産業の振興を図ってまいります。

また、栗山工業団地の優れた立地環境を活かし、首都圏での企業立地セミナーの開催など、積極的な企業誘致活動を展開するとともに、企業立地促進制度による誘致企業への支援を引き続き行ってまいります。

○今年の約束

- ・積極的な企業誘致活動を展開します。
- ・首都圏において企業立地セミナーを開催します。

■商業の振興

栗山商工会議所と連携し、商店街の賑わいを取り戻す主体的な取り組みを支援するなど、魅力ある商店街づくりを推進してまいります。

また、経済発展の著しい東



現在、建て替えが行われているどうえい団地。町営住宅は今後も計画的に建て替えを予定しています。

- 今年の約束**
- ・ 継立地区農業集落排水統合工事を継続します。
- ・ 下水道管理センター機器長寿命化計画を策定します。

■下水道事業

継立地区農業集落排水の公共下水道への統合事業を引き続き進めるとともに、老朽化した下水道処理機器の更新計画を策定するなど、安定的な生活排水処理を行ってまいります。

○今年の約束

- ・ 桜山浄水場機器および老朽管の更新を継続します。

■水道事業

安全で良質な水を将来にわたって安定供給するため、浄水場機器や老朽管の更新を、引き続き進めてまいります。

○今年の約束

- ・ 第4期朝日住宅団地の造成を進めます。

○今年の約束

- ・ 栗山町住生活基本計画を見直します。

- ・ どうえい団地2棟16戸の建て替えを実施します。

- ・ 曙団地建て替えに向け調査・設計を実施します。
- ・ 人にやさしい住宅助成事業を継続します。

■栗山ブランドの創出

国内最北端のブランド栗の産地化を目指す「栗の活用プロジェクト」を、引き続き支



栗山町産の栗で作った「マロングラッセ風の渋皮煮」。昨年の試験販売では好評につき完売となった。栗の活用プロジェクトも継続する。

■観光の振興

効果的な観光情報の発信強化と環境整備を推進し、魅力ある地域資源を活かした観光施策を進めてまいります。

また、道内の産業観光として定着したくりやま老舗まつりをはじめ、まちの賑わいづくりを積極的に支援するなど、多様な交流人口の拡大を図ってまいります。

○今年の約束

- ・ 不動産の滝の環境整備を継続します。
- ・ 栗山公園の案内看板を更新します。

アジア市場における本町特産品の販路開拓にチャレンジする事業者を、引き続き支援してまいります。

○今年の約束

- ・ 空き店舗活用支援事業を継続します。
- ・ 子育て応援事業を引き続き支援します。
- ・ まちの駅栗夢プラザの運営を引き続き支援します。
- ・ 海外販路開拓の取り組みを引き続き支援します。

援するとともに、関係機関・団体と連携し、本町が全国に誇る農産物などのブランド化を推進してまいります。

○今年の約束

- ・ 栗の活用プロジェクトを継続します。

■移住対策

くりやま移住促進協議会と連携し、短期・季節移住など多様なニーズに対応した受け入れを行い、栗山大好きな若者が移住しやすい仕組みづくりを推進してまいります。

■雇用対策

就業希望者へ積極的な情報提供を行うとともに、ハローワーク専門員による職業相談を継続し、就業機会の拡大や労働環境の向上に向けた労働実態調査を実施してまいります。

また、新たに発足した南空知通年雇用促進協議会による、季節雇用者の通年雇用化を促進してまいります。

○今年の約束

- ・ 南空知3町合同の職業相談会を引き続き開催します。



継続して進められる河川整備

■河川の整備

倒木除去や樹木の伐採などを進め、環境との調和に配慮した河川整備を促進してまいります。

また、雨煙別川、ポンウエンベツ川、阿野呂川およびポアンノロ川の改修工事の早期完成に向け、引き続き関係機関に要請してまいります。

■地域情報化

町民生活の利便性を図る「社会保障・税番号制度」の導入に向けて準備を進めてまいります。

○今年の約束

- ・ 社会保障・税番号制度導入に向けシステム改修を実施します。

「快適でやすらぐふるさとづくり」

町民が潤いと快適さを実感できる生活空間を形成するため、「栗山都市計画マスタープラン」に基づき、将来を見据えた機能的な都市基盤の整備を行ってまいります。

■街なみ景観

「栗山町景観条例」に基づく景観づくりを推進するとともに、景観意識の向上を図る取り組みとして、景観資源の発掘とその発信を進めてまいります。

○今年の約束

- ・ くりやま景観フォトコンテストを実施します。
- ・ 景観に配慮した街なみ環境整備を進めます。

■市街地基盤の整備

誰にも優しいユニバーサル・デザインの観点に立った都市基盤の整備を進め、超高齢社会に対応する新しい都市モデルの構築に向けた検討を行ってまいります。

また、新町通街路整備の早期着工を目指し、地元期成会と一体となり引き続き関係機関へ強く要請してまいります。

■道路網の整備

幹線町道の整備をはじめ、計画的な維持補修および道路施設の長寿命化を進めるとともに、国道や道道の整備について、引き続き関係機関へ強く要請してまいります。

また、冬期間における道路交通の安全確保を図るため、迅速かつ機動的な除排雪を行ってまいります。

○今年の約束

- ・ 杵臼本線の改良舗装を継続します。
- ・ 栗山由仁線の改良舗装を実施します。
- ・ 南大通りの歩道改修を実施します。
- ・ 王子橋の修繕工事を実施します。
- ・ 除雪用ダンプトラックを更新します。

■町営バスの運行

利便性の向上と運行の効率化を図りながら、地域住民の足として適切に運行してまいります。

■住環境

本町の住宅政策を定める「栗山町住生活基本計画」を見直し、安全・安心で快適な生活を提供する環境づくりを進めてまいります。



継ぎ、未来への礎を積み重ねていくことが、我々に課せられた大きな使命であると思っております。

私自身、その先頭に立ち、「ふるさは栗山です。」を合言葉に、栗山力・共生力・町民力を活かし、政策目標である「思いやりの心がかよう、元気のでるまちづくりを！」の実現を目指してまいります。

3期目の初年度は、輝かしい未来へ駆け上がる、新たな栗山の「幕開け」の時と位置づけ、町政運営に全力で邁進することを強くお誓い申し上げます。

終わりに、町民の皆さん、議員の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。